

岩見沢聖十字幼稚園 関係者 評価表

評価年月日 令和4年3月9日

評価者氏名 瀧澤聡

園長の自己評価について

評価は、Aがほとんどであり、Bがわずか、Cがないという判断ですので、特に意見はないです。コロナ禍の状況における「保育内容」「安全管理」「人事管理」「財務管理」など、特殊な環境下で保育を運営していくことに苦心しながらも、創意工夫で乗り切った点が十分に伺える内容でした。特に、このような環境であるからこそ、「二人担任制」が機能したことは、特筆すべき事項と思われました。どのような環境にあっても保育を機能させるために必要なことを実施していくことが理解できる事例となっていました。

教職員の自己評価について

毎年そうですが、教職員の率直で具体的な意見を多く読み取ることができ、評価者としては公平な観点から安心して読み進めることができます。今年度の場合もそのような内容になっていました。一つ気になる点として、「地域の自然や社会とのかかわり」と「研修と研究」では、「B（ふつう）」が他の項目に比較して多くあり、この傾向も例年みられるものと同様でした。この背景には、教職員が自己に厳しく評価するためであるのか、あるいは時間的余裕などがなかったためこれらの項目に対応できないのかなど、なんらかの理由があるように思います。この傾向が継続していることの意味について、一度職員全体で検討してみることが必要に思います。自己評価に固定的傾向がある場合は、状況によってはそれが課題になっている場合もあるためです。

保護者のアンケート結果について

今年もたくさんの保護者の方々によるアンケート調査に対するコメントがあり、その数に圧倒されながら、一つひとつ読み進めました。保護者の方々が、実直に表現できる環境にあるからこそ、これだけの数のコメントが集まると思われれます。特に、教職員の方々への感謝の気持ちを表すコメントが多くあり、これが貴幼稚園の特色だと理解しています。

また、今年もコロナ禍での保育でしたので、その状況下でも園の創意工夫ある保育の実践が、高く評価されていました。少数意見になりますが、園への改善を求めるコメントもありましたが、これらのことにもしっかりと耳を傾けていました。園の保育に対して、保護者の方々の多くの支持があると理解できました。

自己評価について、上記以外のご意見、ご感想

保護者の方々からの多くの支持を得ている園ですが、そのことに慢心することなく、これからも子どもを中心した保育の実践をすすめていただければと思います。